

# IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



## も く じ

安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のご願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5～6
各部のなまえ・製品寸法図.....	7
各部のなまえ.....	7
製品寸法図.....	7
付属品.....	8～9
取り付けかた.....	9～28
1. 付属品の確認.....	9
2. 排気方向の決定.....	10～11
3. 排気用部品の準備.....	12～14
4. 本体の準備.....	15
5. 本体の取り付け.....	16～17
6. 排気用部品の接続.....	18～19
7. ダクトと排気用部品の接続.....	19～20
8. 電気配線.....	20
9. 循環フレーム本体の取り付け.....	21～22
10. 動作・風漏確認.....	23
11. 循環幕板本体および前ふたの取り付け.....	23～24
12. 各フィルターの取り付け.....	25～27
13. 前ふたの取り付け.....	27
14. 試運転.....	28
15. お客様への説明.....	28

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、  
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 1581



\* 1 J 0 3 1 5 8 1 \*

# 安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意**：人が軽傷を負う可能性および物的損害\*の発生が想定される内容。

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

## 絵表示の例



⊘ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## 警告



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止  
ガスコンロには使用できません  
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因になります



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする  
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合は、必ず別途換気をおこなってください  
また本製品で換気を併用する場合、必ず室外排気（換気）モードにしてご使用ください  
一酸化炭素中毒の原因になります



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
火災などの原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

# 安全上のご注意

## 警告



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること

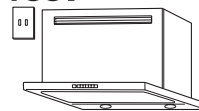
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- 交流 100V 以外では **100V** 使用しないこと

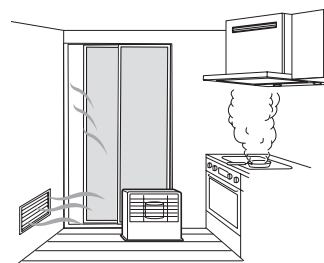
火災・感電の原因になります



取付注意

- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



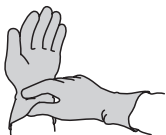
## 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）

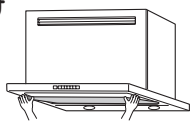
感電および故障の原因になります



取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実に起こすこと

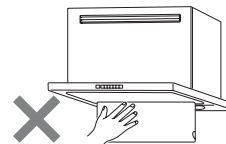
落下によりけがをするおそれがあります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

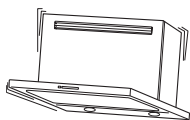
けがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

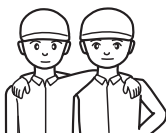
火災・故障の原因になります



取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと

製品はおよそ 48kg の重さがあります



# 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工事**

- (設置のための下地工事等)

- **配線工事**

- (コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)

- **管工事**

- (ダクト配管および室内循環フードからのダクト接続等)

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- 備え付けのIHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用する際は、循環フードを換気モードで使用してください。また、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。

- **ダクトの不燃処理について**

- ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

- 室内循環フード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。

- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m<sup>3</sup>/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

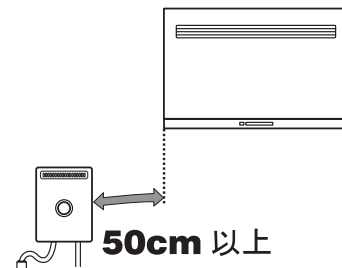
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

- 製品はIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。

なお、製品取付高さは、製品の下端がIHクッキングヒーターの真上 80cm 以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm<sup>2</sup> 程度の空気取入口を設けてください。(室外排気(換気)時)

- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

- 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。

- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

# 取り付け前の調査と準備

## 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと  
火災などの原因になります  
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと  
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

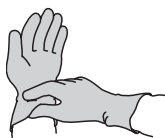
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
火災などの原因になります

## 注意



手袋をする

- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと  
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フード本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強枠等に確実に取付すること  
落下によりけがをすることがあります  
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります



### お願い

室内循環フード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。  
本体の取付用ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

# 取り付け前の調査と準備

## 1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品質量	48kg
------	------

### ■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板に室内循環フードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

### ■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

### ■ 土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

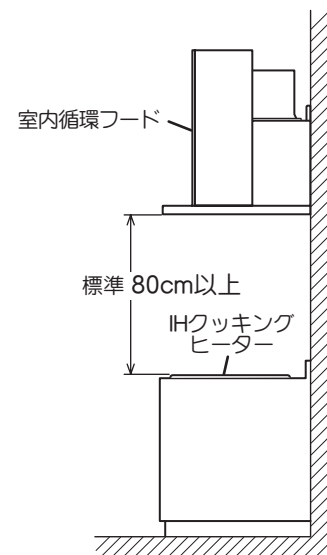
## 2 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

## 3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、IHクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm 以上です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。



## 4 電源コンセント・ブレーカー

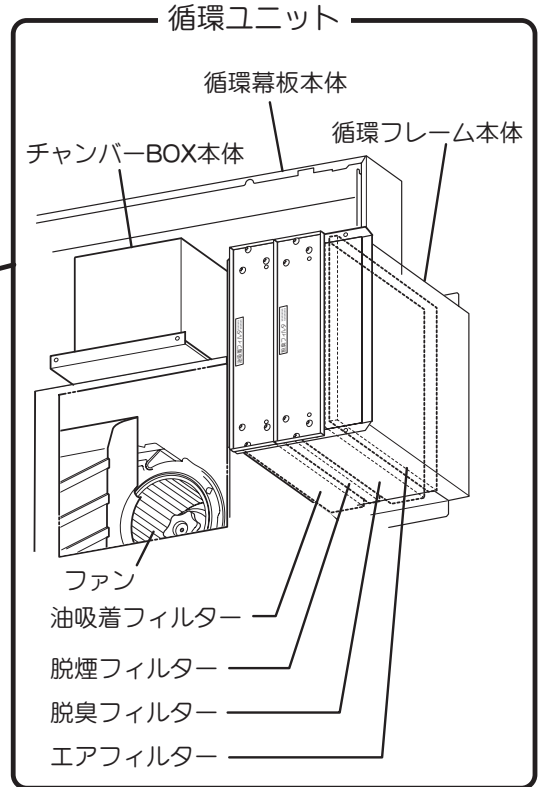
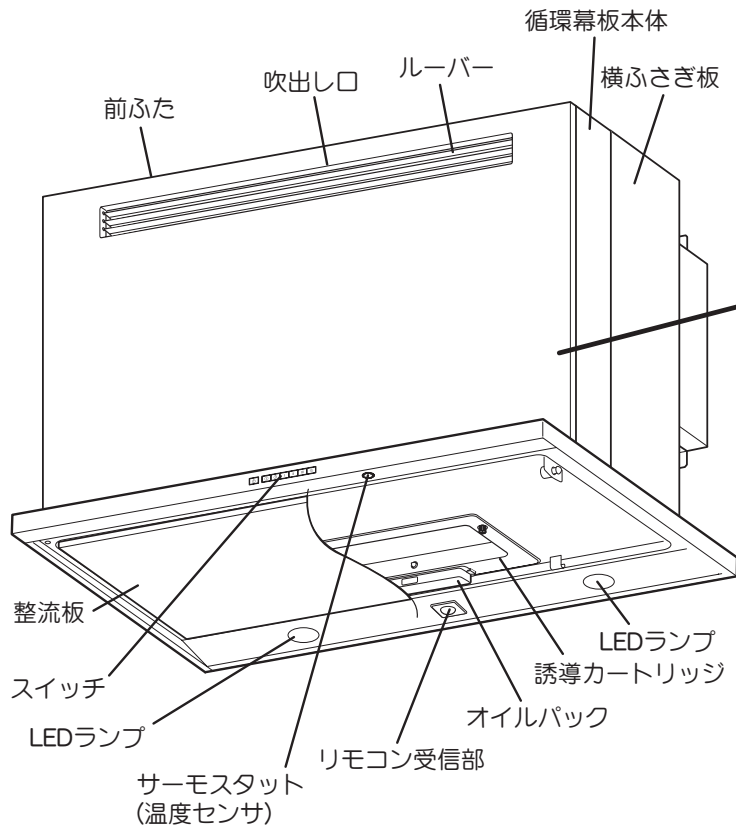
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）  
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

### お願い

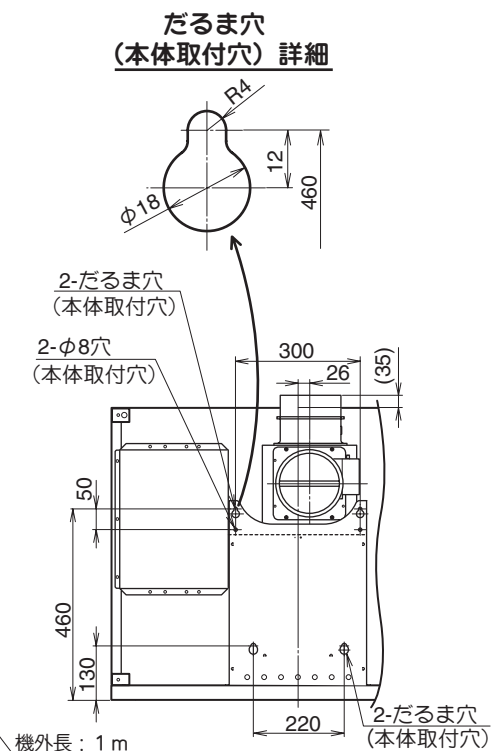
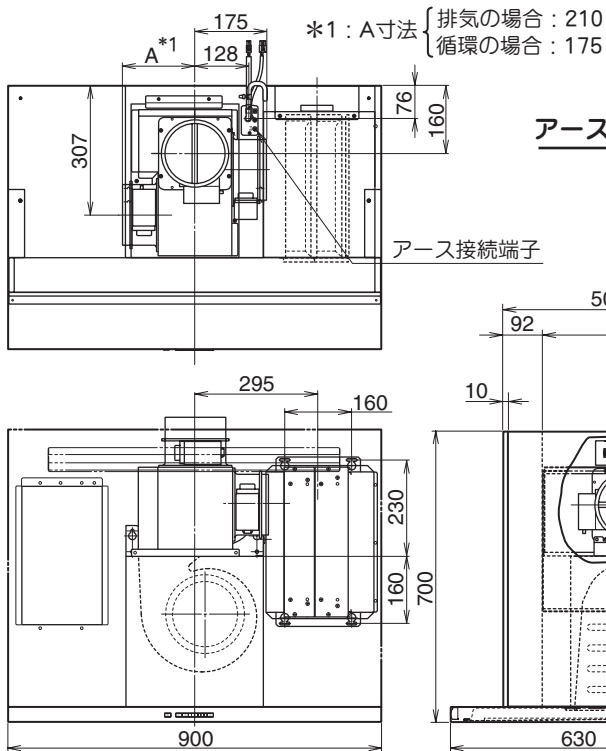
必ずアース（D種接地工事）をしてください。  
室内循環フードが誤作動することがあります。

# 各部のなまえ・製品寸法図

## 各部のなまえ

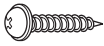





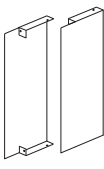
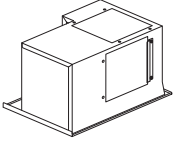
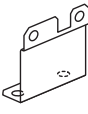

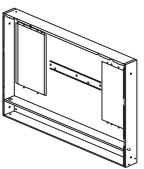
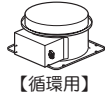
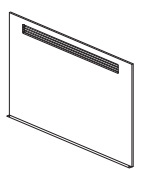




## 製品寸法図



# 付属品

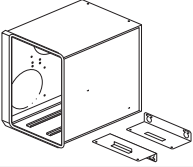
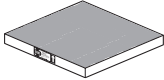
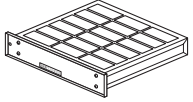
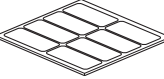
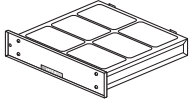
## 室内循環フード本体付属品

	座付ねじ φ 5.1 × 45 (10本)	本体の取り付けに 使います。		ナベねじ M4 × 8 (9本)	循環ユニットの取り 付けに使います。
	ブッシュ (2個)			トラスねじ M4 × 10 (10本)	循環ユニット、前ふ たおよび各フィルタ ーの取り付けに使 います。
	ローレットねじ M4 × 10 (2本)	循環フレーム本体の 取り付けに使いま す。		丸木ねじ φ 4.1 × 16 (2本)	幕板を壁面などに固 定する場合に使用し ます。(側方排気の場合のみ)
	横ふさぎ板 (左・右) (2枚)	本体側面に取り付け ます。 (側方排気の場合は 片側(1枚)のみ使 います)		チャンバー BOX (1個)	循環ユニット構成部 品です。
	固定金具 (1個)	循環フレーム本体の 取り付けに使います。		ソフトテープ (5mm厚, 10mm厚) (各1本)	排気口と循環フレー ム本体、排気口とダ クトとのすきまを塞ぐ のに使います。
	循環幕板本体 (1個)	循環ユニット構成部 品です。	 【循環用】	排気口 (電動シャッター) (各1個)	チャンバー BOX と 循環フレーム本体、 および本体とダクト の接続に使います。
	前ふた (1枚)		 【排気用】		
				引掛け金具 (1個)	排気口(電動シャッ ター)の取り付けに 使います。 (側方排気時のみ)



# 付属品


## 循環ユニット付属品（別売品）収納箱内

	循環フレーム 本体（1個）／ 吊り金具（2個）	循環ユニット構成部 品です。		脱煙フィルター （1個）	循環ユニット構成部 品です。
	油吸着フィルター （1個）			エアフィルター （1個）	
	脱臭フィルター （1個）				

# 取り付けかた

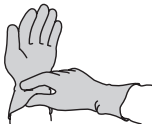
## 1. 付属品の確認


### ⚠ 注意



**取扱注意**

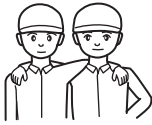
- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります





**取扱注意**

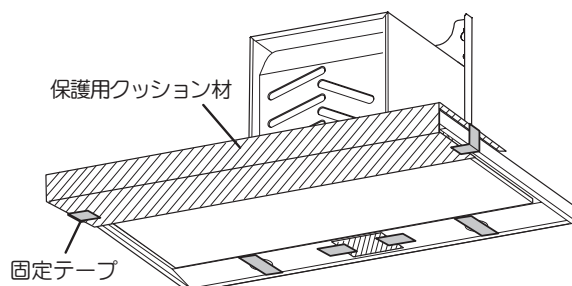
- 作業は2人以上でおこなうこと  
製品はおよそ48kgの重さがあります



本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。  
梱包箱から付属品を取り出し、付属品一覧（8ページ）により不足がないか確認します。  
別売品の循環ユニット部も同様に付属品一覧（上記）により不足がないか確認します。

### お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のためは  
ずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ず  
シートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下さ  
せたり強くぶつかけたりすると、フィルター内部を破損するおそ  
れがあります。



# 取り付けかた

## 2. 排気方向の決定

### 警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

### 注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

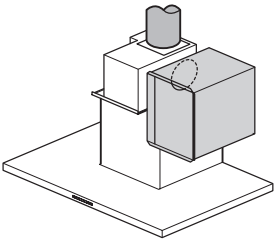
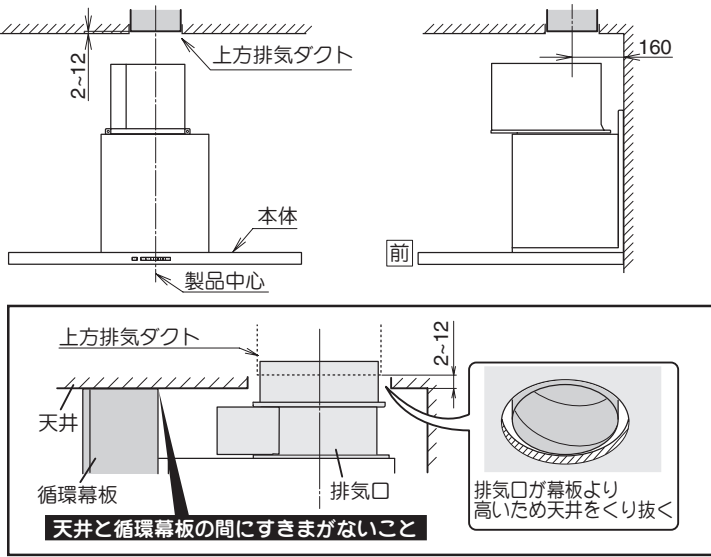
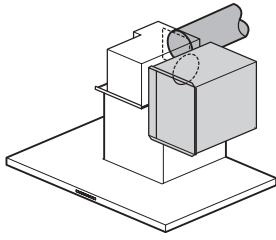
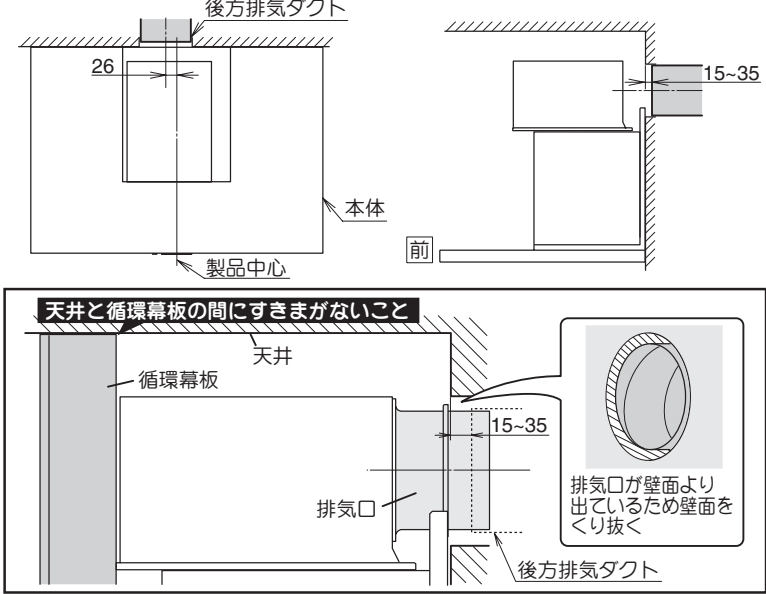
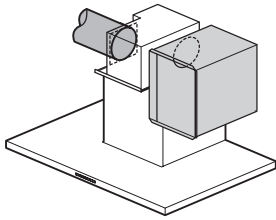
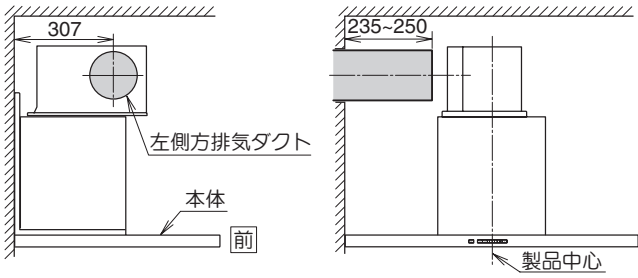
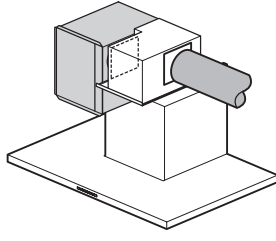
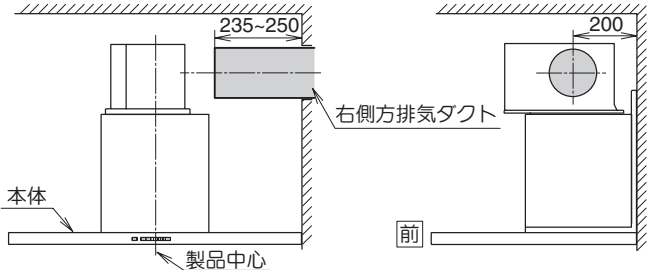
火災・故障の原因になります

**1** 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。）

また、コンセントの位置を確認してください。（「8. 電気配線」（20 ページ）参照）

# 取り付けかた

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを室内循環フードの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げます。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">上方排気</p> 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">後方排気</p> 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">左側方排気</p> 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">右側方排気</p> 	

# 取り付けかた

## 3. 排気用部品の準備

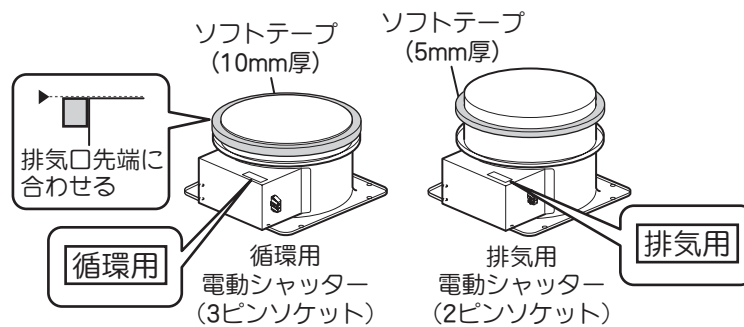
- 「1. 付属品の確認」(9 ページ) で取り出した、排気用・循環用各電動シャッター、ソフトテープおよびチャンバー BOX を用意します。

### 1 排気用および循環用電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。

ソフトテープは厚みの異なる2種類が付属しています。

循環用電動シャッターに10mm厚のもの、排気用電動シャッターに5mm厚のものを使用してください。

※ 各貼付位置は下図を参照してください。



### 2 チャンバー BOX を準備します。

- 上方排気の場合 …………… → 手順3 (14 ページ) に進みます。
- 後方排気、側方排気の場合 …… チャンバー BOX 部品の付け替えをおこないます(次ページ参照)。

# 取り付けかた

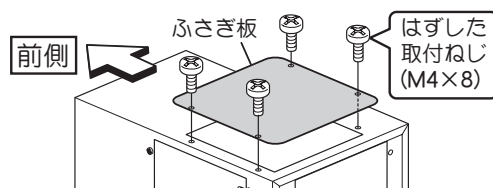
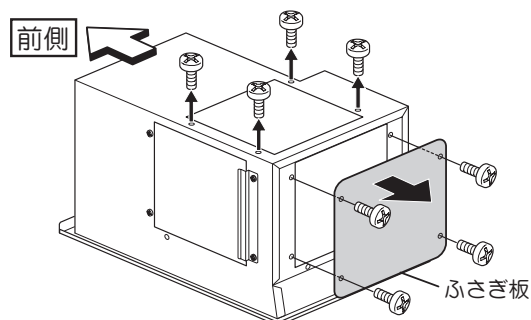
## ■ 後方排気の場合

1) 上面に取り付いている取付ねじ (M4 × 8) 4 本と後方に取り付いているふさぎ板をはずします。

2) はずした取付ねじ (M4 × 8) 4 本でふさぎ板をチャンバー BOX 上面に固定します。

※ 残りの取付ねじ (M4 × 8) 4 本は排気用電動シャッター固定用に使いますので、なくさないでください。

## 後方排気の場合



## ■ 側方排気の場合

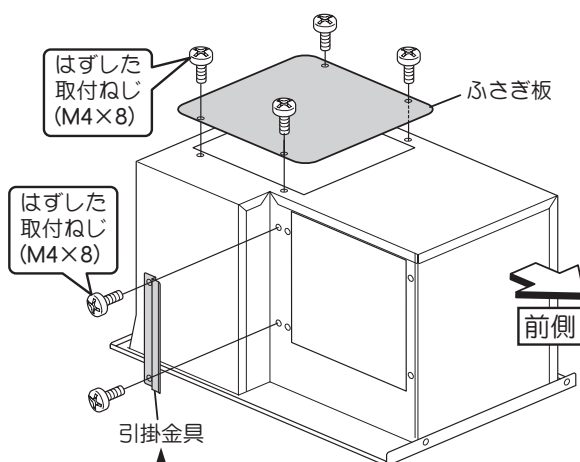
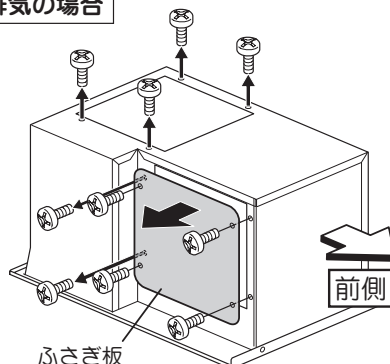
1) 上面に取り付いている取付ねじ (M4 × 8) 4 本、および側面に取り付いているふさぎ板と、その横に取り付いている取付ねじ (M4 × 8) 2 本をはずします。

2) はずした取付ねじ (M4 × 8) 4 本でふさぎ板をチャンバー BOX 上面に固定します。

3) 付属品の引掛け金具をはずした取付ねじ (M4 × 8) 2 本で固定します。

※ 残りの取付ねじ (M4 × 8) 4 本のうち 2 本は排気用電動シャッター固定用に使いますのでなくさないでください。(残り 2 本は使いません。)

## 側方排気の場合



注：引掛け金具の取り付けは側方排気の場合のみおこないます

# 取り付けかた

**3** 排気用電動シャッター（2ピンソケット）をチャンバーBOXに取り付けます。  
※ 排気方向により取付位置が異なります。取付方向はページ下の各図を参照してください。

## ■ 後方排気の場合

前項手順2ではずした取付ねじ（M4×8）4本で、排気用電動シャッターを取り付けます。

## ■ 側方排気の場合

前項手順2ではずした取付ねじ（M4×8）2本で、排気用電動シャッターを取り付けます。

※ 側方排気の場合、排気用電動シャッターの取り付けは本体にチャンバーBOXを取り付けた後、「6. 排気用部品の接続」（18ページ）でおこないます。

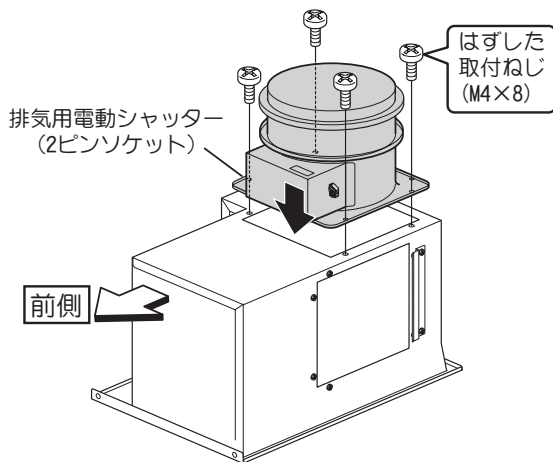
## ■ 上方排気の場合

上面に取り付いている取付ねじ（M4×8）4本をはずし、はずしたねじ4本で排気用電動シャッターを取り付けます。

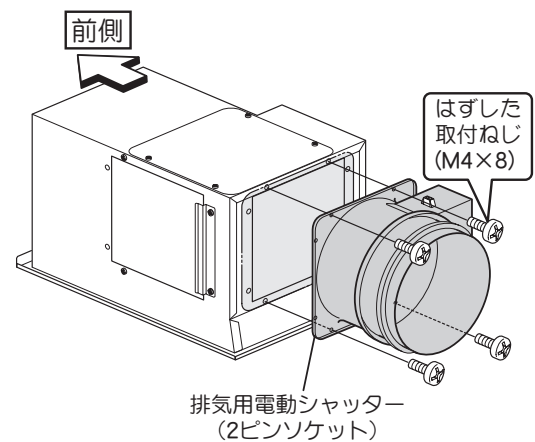
### お願い

手動でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

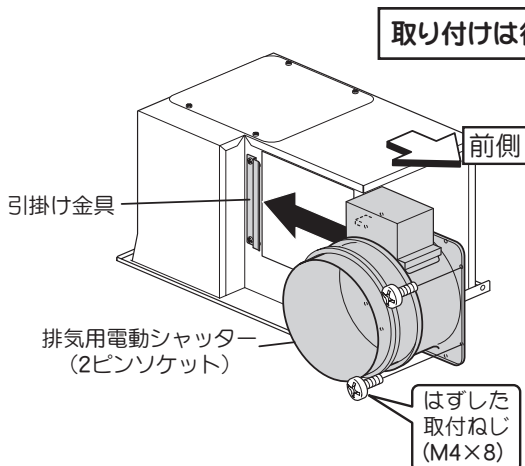
## ■ 上方排気の場合



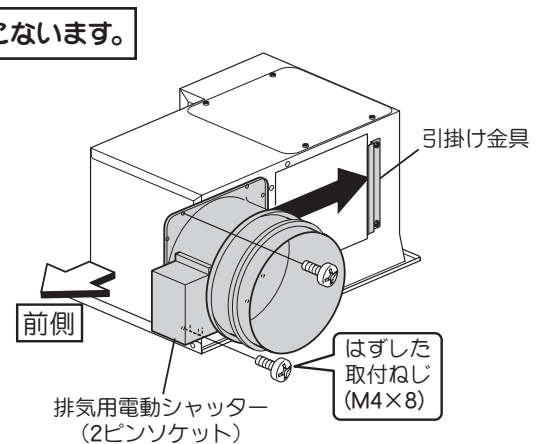
## ■ 後方排気の場合



## ■ 左側方排気の場合



## ■ 右側方排気の場合



取り付けは後の手順にておこないます。

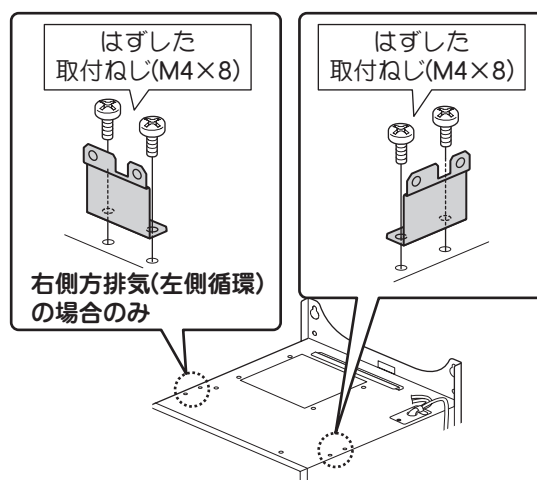
# 取り付けかた

## 4. 本体の準備

- 1** 固定金具を取り付けます。  
本体に取り付いている取付ねじ (M4 × 8) 2 本  
をはずし、付属品の固定金具を取り付けます。

### 【右側方排気 (左側循環) の場合のみ】

固定金具の取付位置が異なります。  
取付位置は右図を参照してください。



- 2** 本体にチャンバー BOX を取り付けます。  
(後方排気の場合を除く)

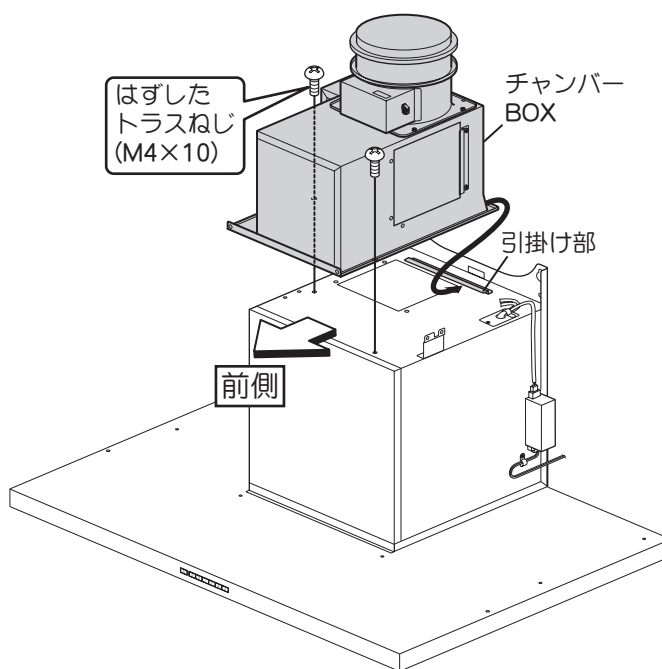
本体に取り付いているトラスねじ (M4 × 10)  
2 本をはずし、本体上面の引掛け部にチャン  
バー BOX を引っ掛け、チャンバー BOX を取  
り付けます。

### お願い

チャンバー BOX のエンボスが変形しないように  
固定してください。

### 【後方排気の場合のみ】

チャンバー BOX の取り付けは、本体  
を壁に取り付けた後におこないます。  
(17 ページ)



# 取り付けかた

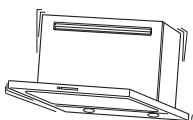
## 5. 本体の取り付け

### ⚠ 注意



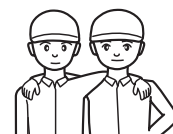
取付注意

- 室内循環フードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと  
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと  
製品はおよそ 48kg の重さがあります



### 1 だるま穴用座付ねじ 6 本をねじ込みます。

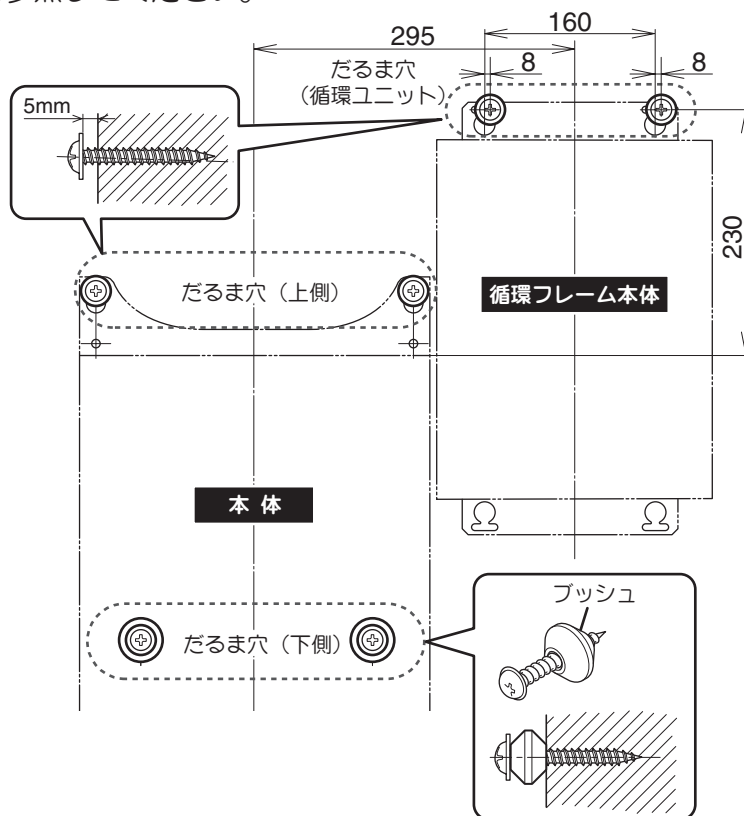
※ 取付寸法は 7 ページの「製品寸法図」を参照してください。

- 1) 本体（上側）取付用のだるま穴位置（2ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2本をねじ込み、壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

- 2) 座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2本に付属品のブッシュを取り付け、本体（下側）取付用のだるま穴位置にねじ込みます。

※ ブッシュが壁に食い込まない程度に締め付けてください。  
ブッシュが壁に食い込んでしまうと本体が取り付けられないおそれがあります。

- 3) 循環フレーム本体取付用のだるま穴位置（2ヶ所）に付属品の座付ねじ（ $\phi 5.1 \times 45$ ）2本をねじ込み、壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。





# 取り付けかた

## 2 本体を引っ掛け固定します。

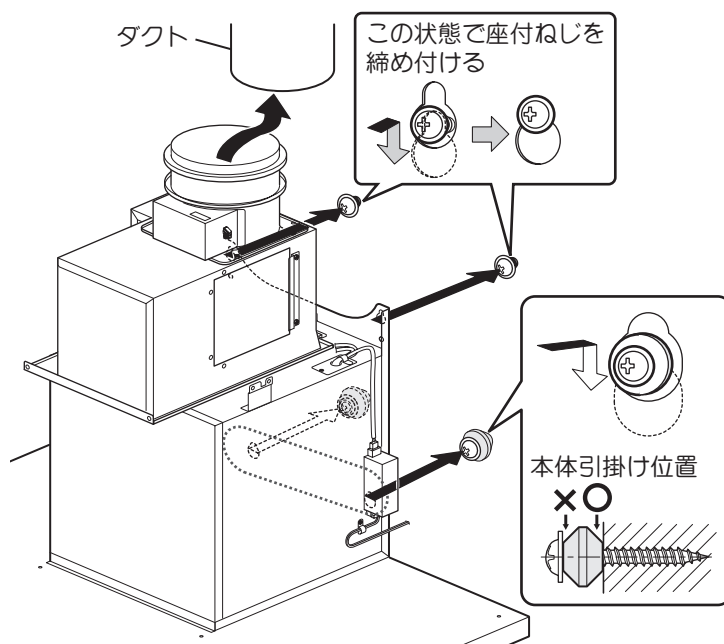
壁面に取付けた本体取付用の座付ねじ4本に本体のだるま穴を引っ掛けた後、上側2本をしっかりと締め付けます。

### お願い

本体取り付けの際は、背面下側のだるま穴の切り欠きを必ず正しい位置に引っ掛けて固定してください。

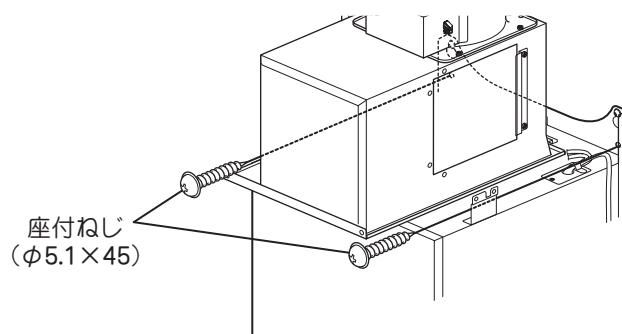
製品が傾いて取り付けられるおそれがあります。

※ 上方排気の場合はダクトに排気用電動シャッターを差し込みながら本体を取り付けてください。



## 3 座付ねじ2本でさらに固定します。

上側だるま穴の下にある2ヶ所のφ8穴に付属品の座付ねじ(φ5.1×45)2本をしっかりと締め付けて固定します。

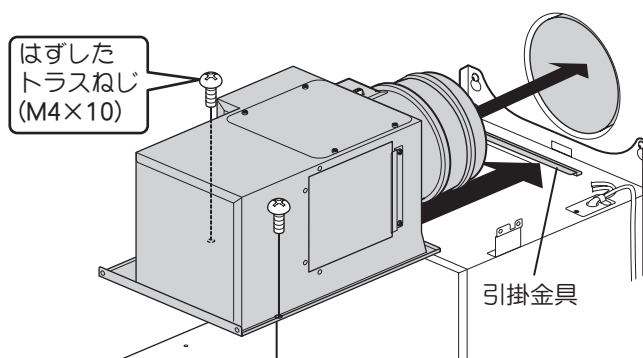


### 【後方排気の場合のみ】

本体に取り付いているトラスねじ(M4×10)2本をはずし、右図の要領でダクトに排気用電動シャッターを差し込みながらチャンバーBOXを取り付けてください。

### お願い

チャンバーBOXのエンボスが変形しないように固定してください。



# 取り付けかた

## 6. 排気用部品の接続

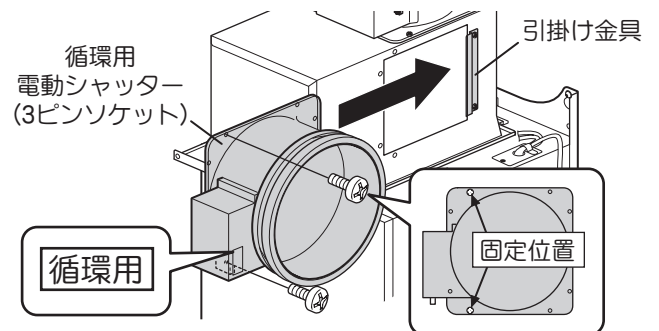
本取付書は右側循環用の図で説明しています。  
左側循環用の場合は排気位置、循環用電動シャッターの向きが異なりますが、取付方法は同じです。  
排気用電動シャッターの取り付けかたは「3. 排気用部品の準備」手順 3 (14 ページ) を参照してください。

### 1 チャンバー BOX に循環用電動シャッターを取り付けます。

開口部の取付ねじ(M4 × 8)2本をはずした後、引掛け金具に循環用電動シャッターを差し込み、はずしたねじで固定します。

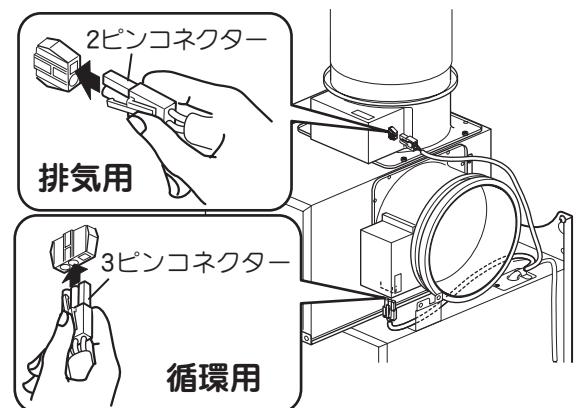
#### お願い

電動シャッターの取付向きに注意して取り付けてください。  
間違った取り付けは油漏れの原因になります。



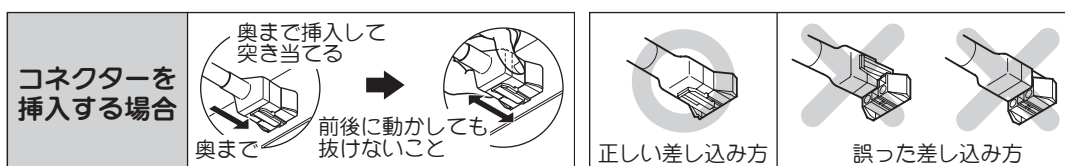
### 2 連動出力コネクタを接続します。

- 1) 排気用電動シャッターのソケット (2ピン) に本体の連動出力コネクタを接続します。
- 2) 循環用電動シャッターのソケット (3ピン) に本体の連動出力コネクタを接続します。



#### お願い

- コネクタの接続は確実にこなしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。



# 取り付けかた

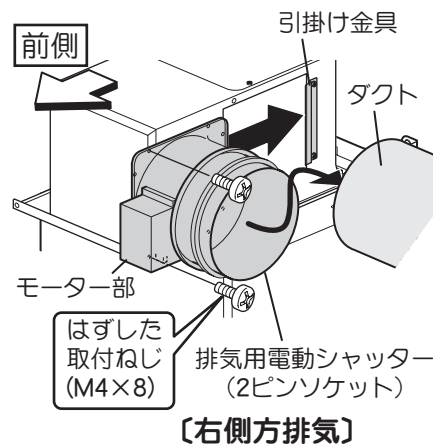
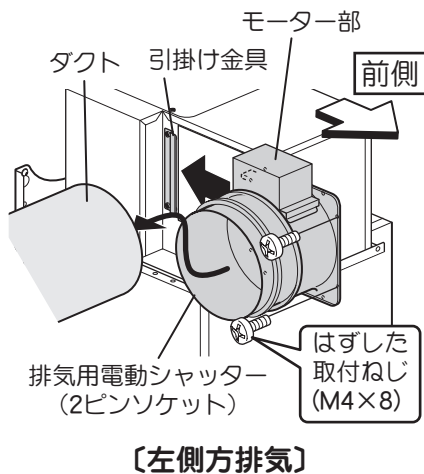
- 側方排気の場合…………… 連動出力コネクタを接続後、下記手順 3 に進みます。
- 上方排気、後方排気の場合…… 「7. ダクトと排気用部品の接続」に進みます。

## 3 チャンバー BOX に排気用電動シャッターを取り付けます。(側方排気の場合のみ)

- 1) 排気用電動シャッターをダクトに差し込みながら、チャンバー BOX の引掛け金具に差し込みます。
- 2) 左側方排気の場合 : 「3. 排気用部品の準備」手順 2 (13 ページ) ではずした取付ねじ (M4 × 8) 2 本で固定します。  
右側方排気の場合 : 「6. 排気用部品の接続」手順 1 (18 ページ) を参照してください。

### お願い

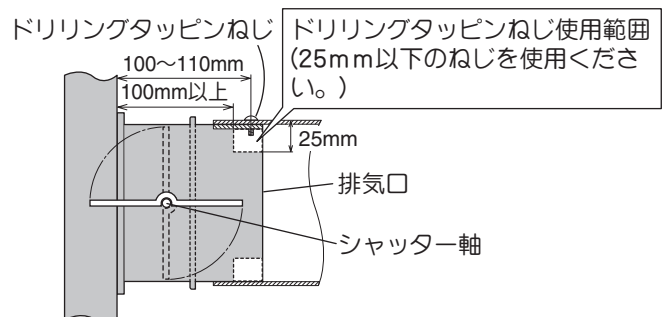
取り付けの際は電動シャッターのモーター部の位置に注意してください。



## 7. ダクトと排気用部品の接続

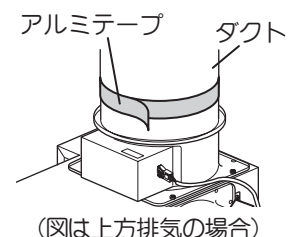
### お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように、図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。



風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。

排気用電動シャッターとダクトの接合部に、風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。



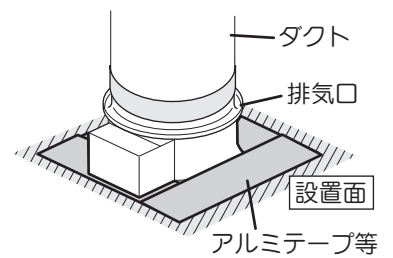
# 取り付けかた

## ■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトに室内循環フードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。

漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



## 8. 電気配線

### 警告



分解・修理・  
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外で

は使用しないこと  
火災・感電の原因になります

100V



取付注意



アースを  
取り付ける

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります

アースの取り付けは販売店にご相談ください

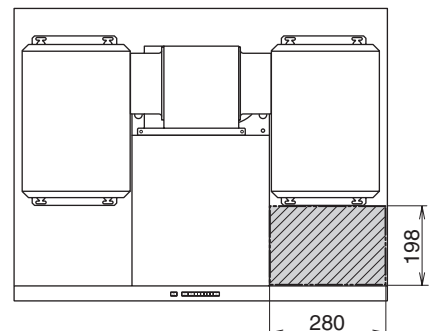
- 1 アース（D種接地工事）を取ります。

※アース線は取り付け作業側にて手配します。

- 2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### お願い

- ・電源は専用のコンセント（2極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、右図の斜線範囲内に設置してください。

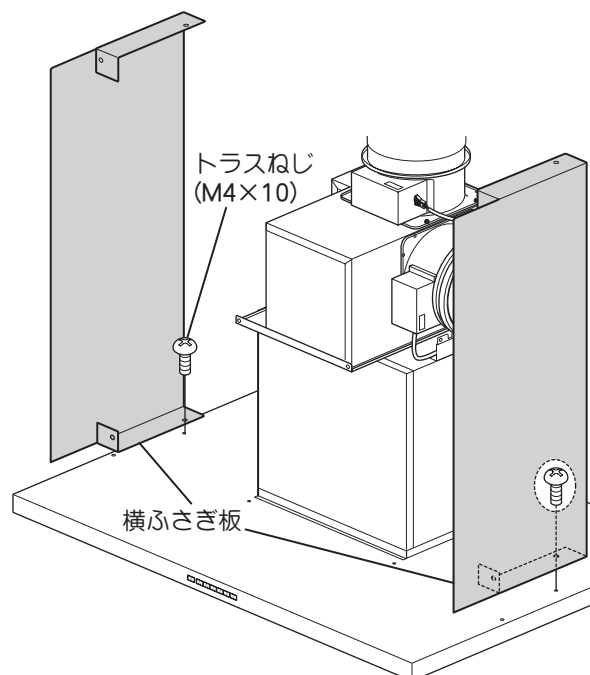


# 取り付けかた

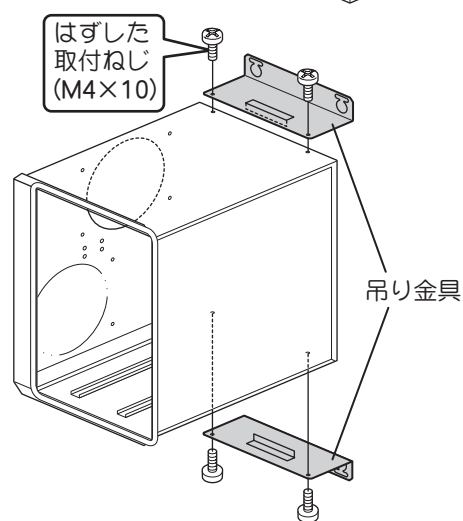
## 9. 循環フレーム本体の取り付け

- 1** 横ふさぎ板をフード本体に取り付けます。  
※ 側方排気の場合、横ふさぎ板は片側のみ取り付けます（排気側は使用しません）。

付属品の横ふさぎ板（左右各1枚）を付属品のトラスねじ（M4×10）各1本でフード本体に固定します。

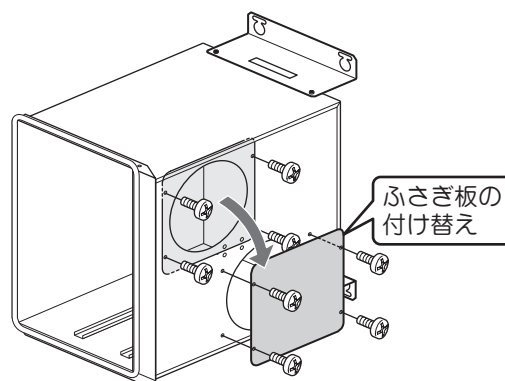


- 2** 循環フレーム本体に吊り金具を取り付けます。  
循環フレーム本体に同梱されている吊り金具2個を、循環フレーム本体の上下に取り付けます。  
※ 循環フレーム本体に取り付いている取付ねじ（M4×10）各2本をはずして取り付けます。



### 【右側方排気（左側循環）の場合のみ】

右側方排気の場合、循環用電動シャッターの差込口が異なります。  
右図の要領でふさぎ板の付け替えをおこなってください。  
※ 循環フレーム本体に取り付いている取付ねじ（M4×8）各4本をはずして付け替えます。



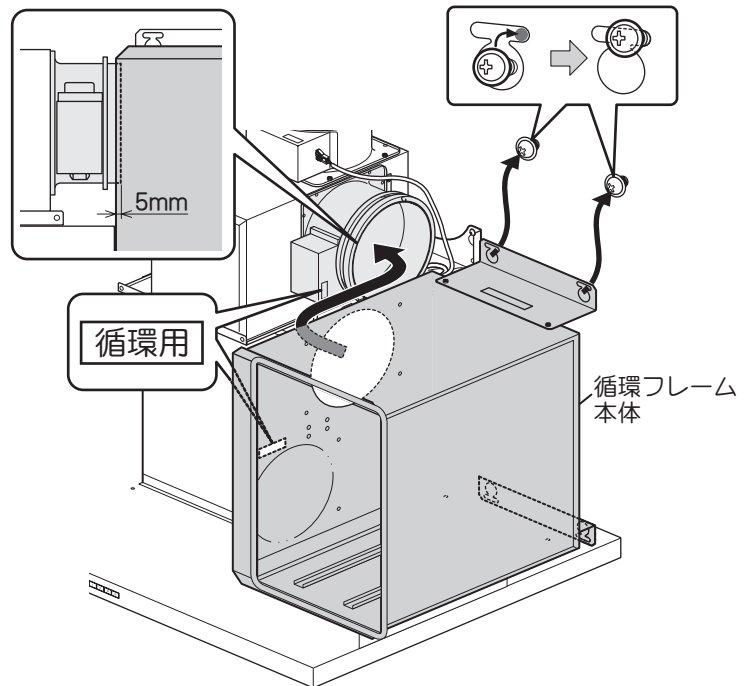
# 取り付けかた

## 3 循環フレーム本体を取り付けます。

- 1) 壁に取り付けてある循環フレーム本体取付用の座付ねじ2本に循環フレーム本体上側を引っ掛けます。
- 2) 循環フレーム本体をスライドさせて循環フレーム本体の開口部を循環用電動シャッターに差し込みます。

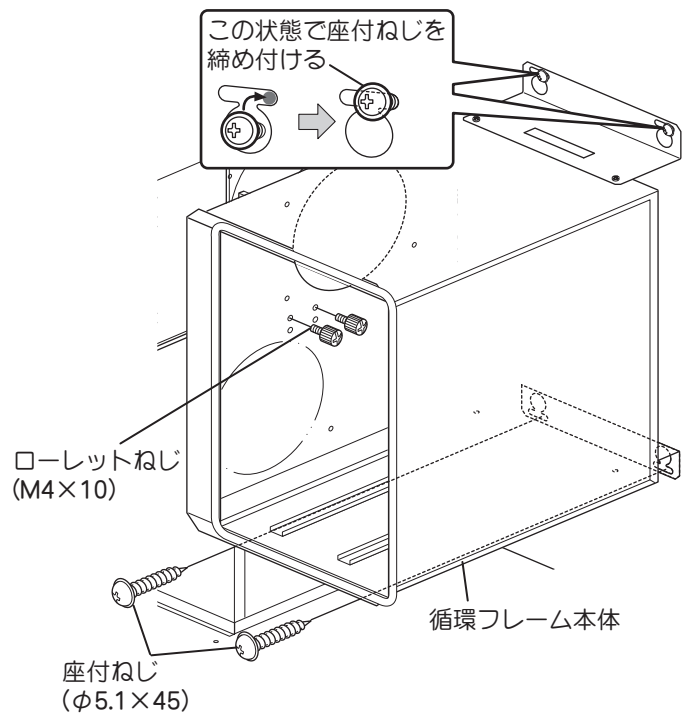
### お願い

循環フレーム本体と循環用電動シャッターに貼り付けてある循環用ラベルがそれぞれ合っていることを確認してください。



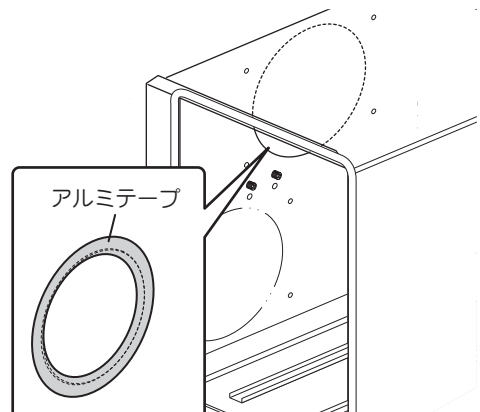
## 4 循環フレーム本体を固定します。

- 1) 付属品のローレットねじ (M4 × 10) 2本で循環フレーム本体内側から本体に固定します。  
固定後、必ず増し締めしてください。
- 2) 循環フレーム本体上側を引っ掛けている座付ねじ2本をしっかりと締め付けます。
- 3) 循環フレーム本体下側を付属品の座付ねじ (φ 5.1 × 45) 2本でしっかりと固定します。



## 5 風漏れ防止のテーピングをおこないます。

循環用電動シャッターと循環フレーム本体の接合部に、風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。



# 取り付けかた

## 10. 動作・風漏確認

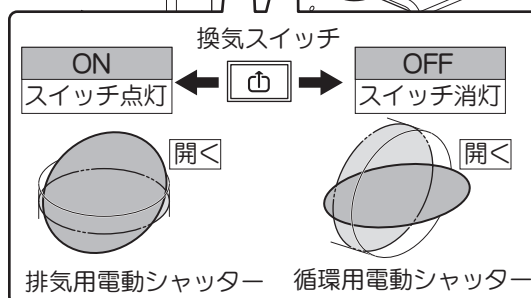
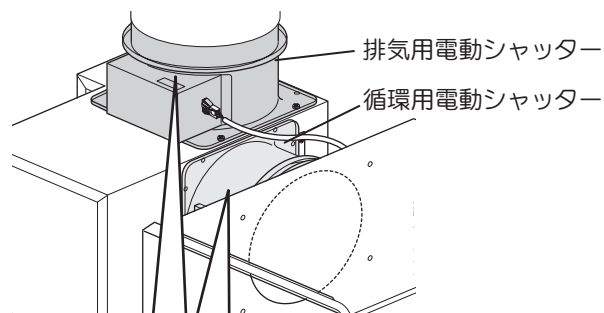
運転状態および風漏確認をおこないます。

分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して下表の事項を点検・確認してください。

### お願い

確認後は分電盤のブレーカーを「切」にしてください。

点検項目	点検する内容・箇所
運転状態	換気切り替えスイッチによる電動シャッターの動きなど (右図参照)
風漏れがないか	排気口および循環フレーム本体の各接続口

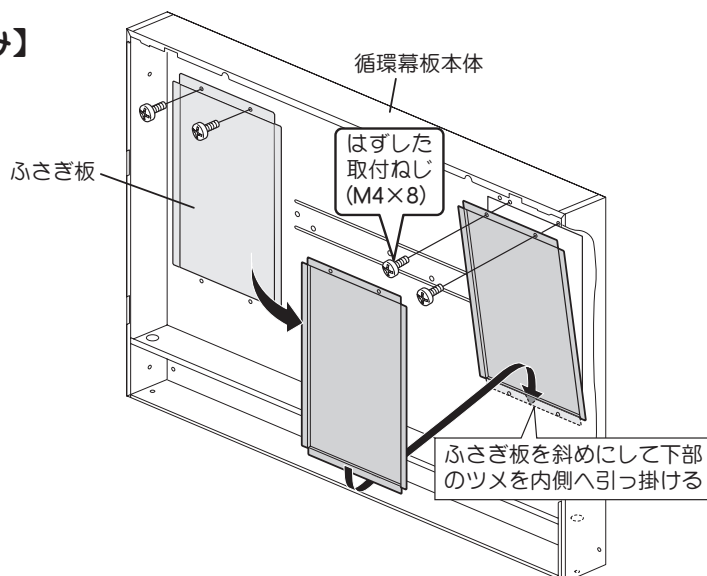


## 11. 循環幕板本体および前ふたの取り付け

### 【右側方排気（左側循環）の場合のみ】

循環幕板本体を取り付ける前に、循環幕板本体に取り付いているふさぎ板をはずし、反対側に付け替えます。

取付ねじ (M4 × 8) 2本をはずして取り付けます。

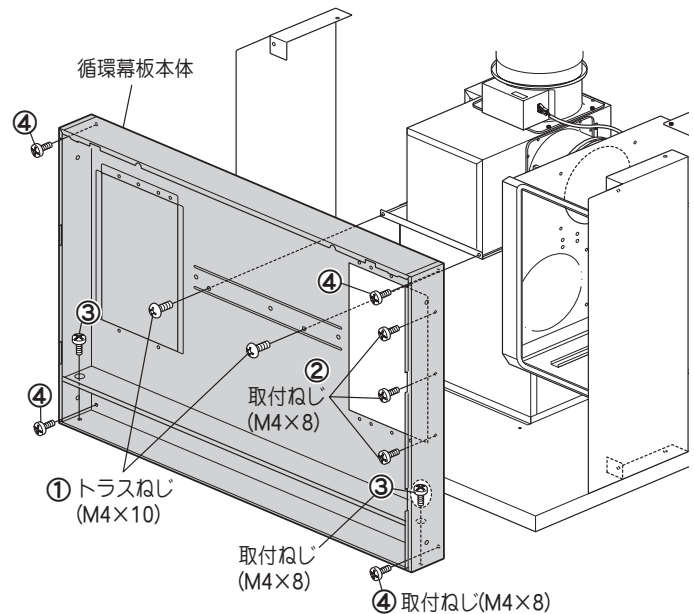


# 取り付けかた

## 循環幕板本体を取り付けます。

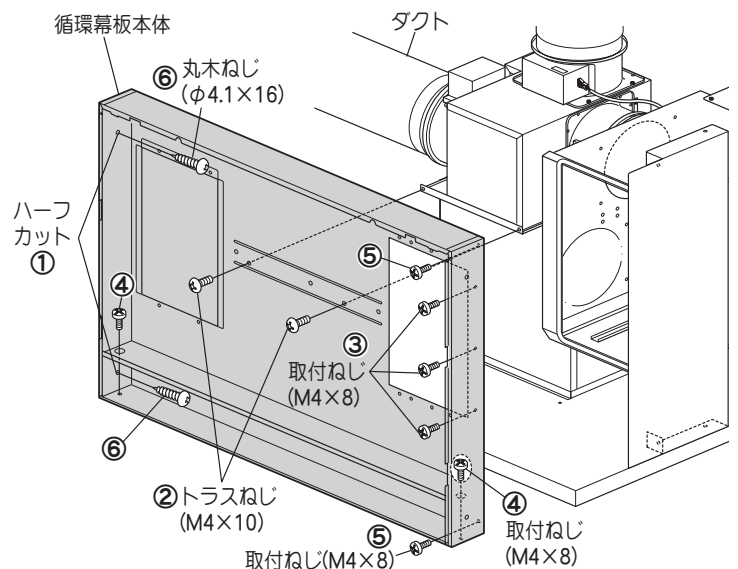
※ 側方排気の場合は、取付方法が異なりますのでページ下部の取付手順を参照してください。

- 1) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本でフードに固定します ( ① )。
- 2) 付属品の取付ねじ (M4 × 8) 3 本で循環フレーム本体に固定します ( ② )。
- 3) 循環幕板本体下部の左右を付属品の取付ねじ (M4 × 8) 2 本でフードに固定します ( ③ )。
- 4) 循環幕板本体四隅を付属品の取付ねじ (M4 × 8) 4 本で横ふさぎ板に固定します ( ④ )。



## 【側方排気の場合】

- 1) 循環幕板本体側面 (横ふさぎ板を使用しない側) にあるハーフカットを打ち抜きます ( ① )。
- 2) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本でフードに固定します ( ② )。
- 3) 付属品の取付ねじ (M4 × 8) 3 本で循環フレーム本体に固定します ( ③ )。
- 4) 循環幕板本体下部の左右を付属品の取付ねじ (M4 × 8) 2 本でフードに固定します ( ④ )。
- 5) 循環幕板本体上下 2 ヶ所 (横ふさぎ板のある側) を付属品の取付ねじ (M4 × 8) 2 本で横ふさぎ板に固定します ( ⑤ )。
- 6) 1) で打ち抜いた循環幕板本体側面の穴に付属品の丸木ねじ (φ 4.1 × 16) 2 本で側面 (壁面・吊戸棚等) に固定します ( ⑥ )。



(上図は左側方排気の場合)



# 取り付けかた

## 12. 各フィルター取り付け

各フィルターを取り付けます。

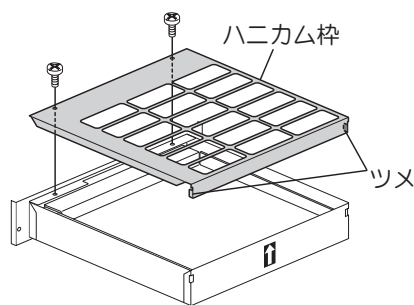
### お願い

- ・各種フィルターの取り扱いには十分ご注意ください。  
落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部を破損するおそれがあります。
- ・フィルターの粉が落ちる場合があります。  
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

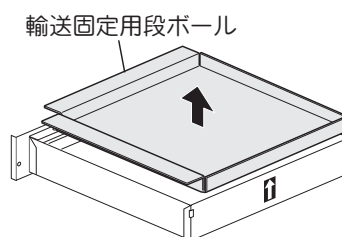
### ■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側のねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。



- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。

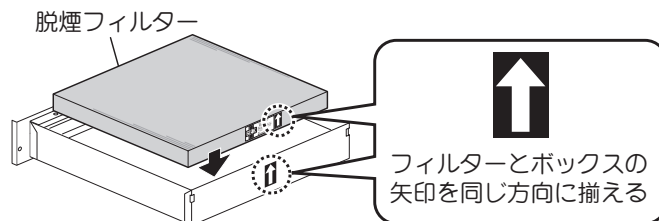


- 3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

### お願い

必ず脱煙フィルターとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。

誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因になることがあります。



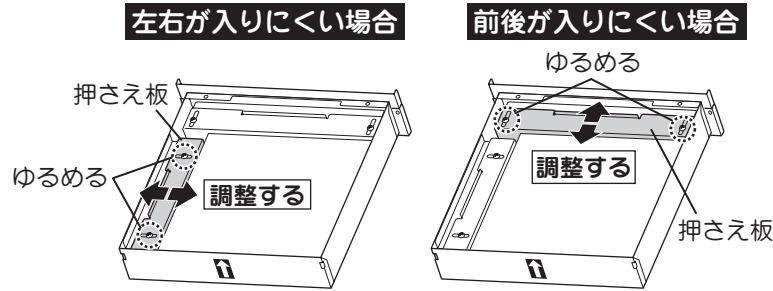
# 取り付けかた

## ■ 脱煙フィルターが入りにくい場合は

フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

ボックスに脱煙フィルターが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。

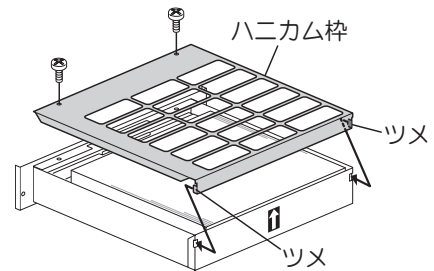
挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。



## お願い

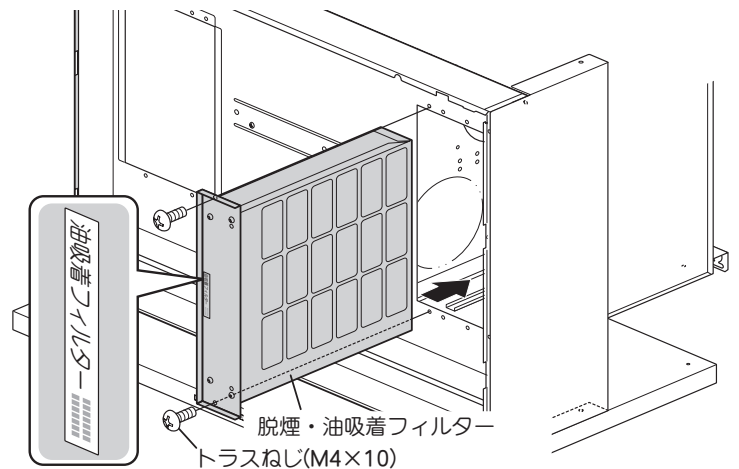
脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

- 4) ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。



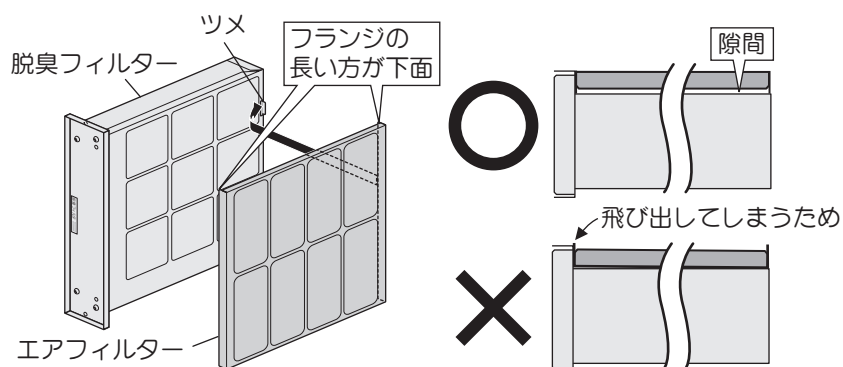
## ■ 各フィルターの取り付け

- 1) 脱煙・油吸着フィルターを図のように左側に差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

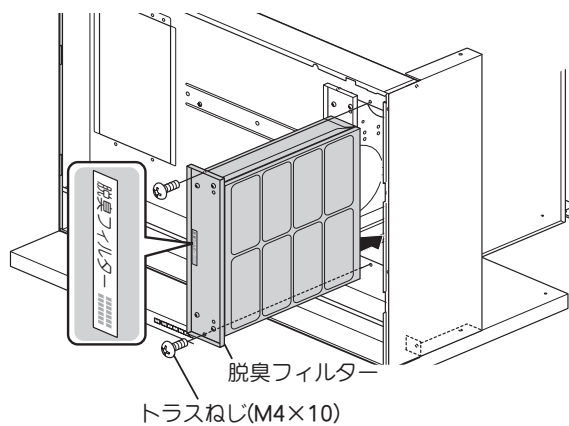


# 取り付けかた

- 2) 脱臭フィルター奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを重ねます。エアフィルターを重ねる際は、右図のように脱臭フィルターとエアフィルターとの間にすきまが空く面を下側にしてください。



- 3) 脱臭フィルターを脱煙・油吸着フィルターの横に差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



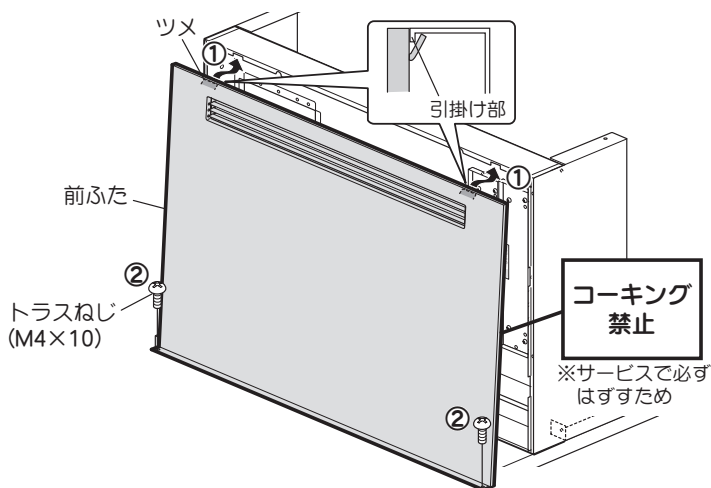
## 13. 前ふたの取り付け

前ふたを取り付けます。

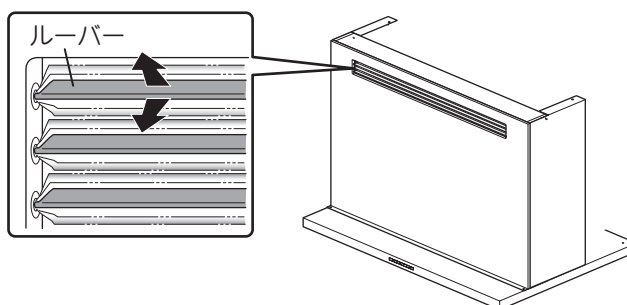
- 1) 前ふた上部のツメ 2ヶ所を循環幕板本体に引っ掛け、下側 2ヶ所を付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。

### お願い

フィルター交換の際に前ふたを取りはずしますので、前ふたの外周はコーキングをしないでください。

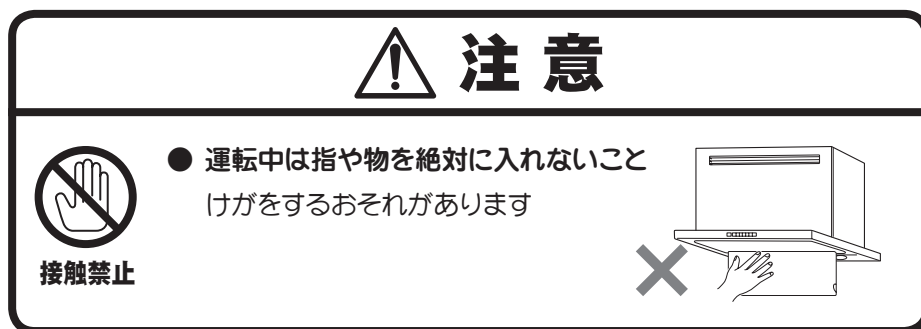


- 2) ルーバーの向きを調節します。



# 取り付けかた

## 14. 試運転



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 室外排気（換気）モードで運転時、室外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

## 15. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。